

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【四半期会計期間】	第48期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	KYCOMホールディングス株式会社
【英訳名】	KYCOM HOLDINGS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 勇雄
【本店の所在の場所】	福井県福井市月見五丁目4番4号
【電話番号】	0776-34-3512（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 吉村 仁博
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市月見五丁目4番4号
【電話番号】	0776-34-3512（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 吉村 仁博
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第2四半期 連結累計期間	第48期 第2四半期 連結累計期間	第47期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	1,582,721	1,820,098	3,454,090
経常利益 (千円)	14,042	98,821	93,634
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (千円)	1,828	76,865	92,024
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	12,021	115,654	72,675
純資産額 (千円)	1,471,828	1,648,076	1,532,448
総資産額 (千円)	3,185,212	3,421,496	3,173,891
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額() (円)	0.36	15.12	18.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	45.8	47.8	47.9
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	11,781	123,783	58,967
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	28,138	39,109	42,850
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	85,039	20,296	141,051
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	507,012	536,082	430,527

回次	第47期 第2四半期 連結会計期間	第48期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.66	10.24

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用情勢の改善が進む一方、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動、外需の伸び悩みなどから、不透明な状況で推移いたしました。

また、大企業を中心に設備投資意欲が高まりつつあるものの、IT投資に大きな変化は見られず、情報サービス業の成長は横ばいで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、事業の柱であるソフトウェア開発及び関連業務やコンピュータ関連サービス事業を中心に、グループ間で連携を取りながら提案営業の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は18億20百万円（前年同四半期比15.0%増）、営業利益は67百万円（前年同期比196.6%増）、経常利益は有価証券運用益30百万円等により、98百万円（前年同期比603.8%増）を、それぞれ計上いたしました。これに、税金費用等を加味した結果、四半期純利益は76百万円（前年同四半期は1百万円の四半期純損失）となりました。

なお、事業部門別の売上高は次のとおりであります。

事業部門の名称	前第2四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ソフトウェア開発及び関連業務	912,896	57.7	1,100,326	60.5	120.5
コンピュータ関連サービス	629,283	39.8	679,327	37.3	108.0
データエンター	22,339	1.4	20,559	1.1	92.0
その他	18,202	1.1	19,885	1.1	109.2
合計	1,582,721	100.0	1,820,098	100.0	115.0

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は536百万円で、前連結会計年度末に比べて105百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は123百万円（前年同期は、11百万円の増加）となりました。主な増加の内訳は、税金等調整前四半期純利益97百万円、減価償却費19百万円及び売上債権の減少22百万円であります。主な減少の内訳は、有価証券運用益30百万円及び仕入債務の減少18百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は39百万円（前年同期は、28百万円の増加）となりました。主な内訳は、投資有価証券の取得による支出210百万円、投資有価証券の売却による収入182百万円及び有形固定資産の取得による支出11百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は20百万円（前年同期は、85百万円の減少）となりました。主な内訳は、短期借入れによる収入470百万円、短期借入金の返済による支出366百万円及び長期借入金の返済による支出82百万円であります。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,115,492	5,115,492	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株で あります。
計	5,115,492	5,115,492	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	5,115	-	1,612	-	-

(6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
吉村昭一	東京都三鷹市	978,700	19.13
アルディート・アセット・マネジメント(株)	東京都中央区佃2丁目1-1	710,000	13.87
カズオ ヨシムラ(常任代理人 みずほ証券(株))	Singapore, Republic of Singapore (東京都千代田区大手町1丁目5-1)	517,248	10.11
KYCOMグループ社員持株会	東京都千代田区神田須田町1丁目2-7	372,000	7.27
(有)ファースト・システムズ	東京都小金井市緑町3丁目2-32	337,000	6.58
小林勇雄	栃木県下都賀郡野木町	247,520	4.83
山本保彦	福井県福井市	115,844	2.26
(株)EAGLE ADVANTEK	東京都西東京市芝久保町4丁目4-4	108,000	2.11
KYCOMグループ役員持株会	東京都千代田区神田須田町1丁目2-7	92,000	1.79
小原浩之	福井県福井市	84,000	1.64
計	-	3,562,312	69.63

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 34,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,060,000	5,060	-
単元未満株式	普通株式 21,492	-	-
発行済株式総数	5,115,492	-	-
総株主の議決権	-	5,060	-

(注) 1「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が18,000株(議決権18個)含まれております。

2「単元未満株式」欄の普通株式には、単元未満自己株式296株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) KYCOMホールディングス(株)	福井県福井市月見五丁目4 番4号	34,000	-	34,000	0.66
計	-	34,000	-	34,000	0.66

(注) 当社は、単元未満自己株式296株を保有しております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、アスカ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	430,527	536,082
受取手形及び売掛金	504,986	482,442
有価証券	94,615	206,763
商品	9,864	8,972
仕掛品	43,899	39,877
原材料及び貯蔵品	1,839	1,568
その他	119,470	95,691
貸倒引当金	11,181	8,711
流動資産合計	1,194,020	1,362,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	427,468	420,382
土地	846,569	846,569
その他(純額)	45,037	43,121
有形固定資産合計	1,319,075	1,310,072
無形固定資産	25,326	18,878
投資その他の資産		
投資有価証券	426,851	527,973
その他	242,466	240,457
貸倒引当金	34,267	38,887
投資その他の資産合計	635,051	729,544
固定資産合計	1,979,452	2,058,495
繰延資産	418	313
資産合計	3,173,891	3,421,496

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,720	35,036
短期借入金	160,100	263,400
1年内返済予定の長期借入金	164,080	161,761
未払金	307,689	404,439
未払法人税等	30,001	18,880
賞与引当金	60,204	64,645
その他	117,101	141,812
流動負債合計	892,897	1,089,976
固定負債		
長期借入金	618,047	537,389
退職給付に係る負債	87,960	87,269
その他	42,538	58,784
固定負債合計	748,545	683,443
負債合計	1,641,443	1,773,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,612,507	1,612,507
利益剰余金	138,783	61,918
自己株式	9,025	9,052
株主資本合計	1,464,697	1,541,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,891	89,621
為替換算調整勘定	3,492	5,066
その他の包括利益累計額合計	55,384	94,688
少数株主持分	12,365	11,851
純資産合計	1,532,448	1,648,076
負債純資産合計	3,173,891	3,421,496

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,582,721	1,820,098
売上原価	1,278,557	1,459,368
売上総利益	304,163	360,729
販売費及び一般管理費	281,294	292,891
営業利益	22,868	67,838
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,089	6,808
賃貸料収入	9,526	8,661
有価証券運用益	-	30,559
その他	6,493	5,562
営業外収益合計	20,109	51,590
営業外費用		
支払利息	7,623	6,512
有価証券運用損	8,677	-
減価償却費	6,574	6,282
その他	6,061	7,812
営業外費用合計	28,936	20,607
経常利益	14,042	98,821
特別利益		
投資有価証券売却益	1,956	3,478
特別利益合計	1,956	3,478
特別損失		
投資有価証券評価損	1,278	5,136
過年度決算訂正関連費用	17,661	-
固定資産除却損	27	79
特別損失合計	18,967	5,215
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	2,968	97,084
法人税等	1,305	20,733
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	4,274	76,350
少数株主損失()	2,445	514
四半期純利益又は四半期純損失()	1,828	76,865
少数株主損失()	2,445	514
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	4,274	76,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,630	37,729
為替換算調整勘定	335	1,574
その他の包括利益合計	16,295	39,303
四半期包括利益	12,021	115,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,466	116,168
少数株主に係る四半期包括利益	2,445	514

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	2,968	97,084
減価償却費	26,863	19,978
のれん償却額	874	1,152
繰延資産償却額	104	104
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,381	2,149
受取利息及び受取配当金	4,089	6,808
支払利息	7,623	6,512
退職給付引当金の増減額(は減少)	950	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	690
賞与引当金の増減額(は減少)	11,471	4,441
固定資産除却損	27	79
有価証券運用損益(は益)	8,677	30,559
投資有価証券売却損益(は益)	1,956	3,478
投資有価証券評価損	1,278	5,136
売上債権の増減額(は増加)	71,970	22,544
たな卸資産の増減額(は増加)	75,130	5,184
仕入債務の増減額(は減少)	641	18,683
その他の資産の増減額(は増加)	4,838	25,312
その他の負債の増減額(は減少)	19,223	25,793
小計	31,152	155,253
利息及び配当金の受取額	4,089	6,808
利息の支払額	7,466	6,394
法人税等の支払額	15,993	31,884
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,781	123,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	600	-
定期預金の払戻による収入	6,000	-
有形固定資産の取得による支出	1,509	11,011
無形固定資産の取得による支出	2,697	-
投資有価証券の取得による支出	136,670	210,920
投資有価証券の売却による収入	123,461	182,072
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5,000	-
長期未払金の支払による支出	976	-
貸付けによる支出	12,500	-
貸付金の回収による収入	50,963	773
その他資産の取得による支出	2,467	192
その他資産の回収による収入	135	168
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,138	39,109
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	470,000
短期借入金の返済による支出	350,000	366,700
長期借入金の返済による支出	84,999	82,977
自己株式の取得による支出	40	26
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,039	20,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	335	585
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	45,455	105,554
現金及び現金同等物の期首残高	552,467	430,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	507,012	536,082

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当社は、平成26年4月1日をもって100%出資の連結子会社であるKYCOM株式会社を吸収合併したため、当該会社は連結の範囲より除外されております。

また、平成26年7月1日をもって、当社100%出資の連結子会社である有限会社サムソン・エステートを当社100%出資の連結子会社であるサムソン総合ファイナンス株式会社が吸収合併したため、有限会社サムソン・エステートは連結の範囲より除外されております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主な費用別内訳は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
役員報酬	71,140千円	65,480千円
給料手当	90,966	106,111
賞与引当金繰入額	3,953	4,748
退職給付費用	1,650	2,052
貸倒引当金繰入額	2,310	2,149
減価償却費	13,050	6,996
支払手数料	21,464	19,610

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金	507,012千円	536,082千円
預入期間が3か月超の定期預金	-	-
現金及び現金同等物	507,012	536,082

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社の情報処理事業の売上高及び営業損益の全セグメントに占める割合がいずれも90%超であり概ね単一セグメントとなること、最高経営意思決定機関への報告も単一セグメントとしてなされていること等により開示を省略いたします。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社の情報処理事業の売上高及び営業損益の全セグメントに占める割合がいずれも90%超であり概ね単一セグメントとなること、最高経営意思決定機関への報告も単一セグメントとしてなされていること等により開示を省略いたします。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(1)取引の概要

被結合企業の名称及び事業の内容

名称:有限会社サムソン・エステート

事業の内容:不動産賃貸及び有価証券の保有・売買

企業結合日

平成26年7月1日

企業結合の法的形式

サムソン総合ファイナンス株式会社を存続会社とする吸収合併方式とし、有限会社サムソン・エステートは解散いたしました。

結合後企業の名称

サムソン総合ファイナンス株式会社

その他取引の概要に関する事項

資産運用に係る業務の管理体制を一元化することで、経営資源の効率化を図り収益構造を強化することを目的としております。

(2)実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日公表分)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	0円36銭	15円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	1,828	76,865
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失金額()(千円)	1,828	76,865
普通株式の期中平均株式数(株)	5,081,670	5,081,323

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月12日

KYCOMホールディングス株式会社
取締役会 御中

アスカ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田 中 大 丸 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 法 木 右 近 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているKYCOMホールディングス株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、KYCOMホールディングス株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。